

盛岡市総合計画実施計画

－ 令和2年度実績（戦略プロジェクト） －

目次

戦略プロジェクトの概要.....	1
資料の見方.....	2
重点1 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト.....	3
■ 重点事業の実績.....	3
■ 指標の状況.....	6
■ 主な成果と課題.....	8
■ 今後の方向性.....	9
重点2 みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト.....	10
■ 重点事業の実績.....	10
■ 指標の状況.....	14
■ 主な成果と課題.....	15
■ 今後の方向性.....	16
重点3 2020 あつまる・つながるまちプロジェクト.....	17
■ 重点事業の実績.....	17
■ 指標の状況.....	20
■ 主な成果と課題.....	21
■ 今後の方向性.....	22

戦略プロジェクトの概要

■ 戦略プロジェクトについて

基本目標を達成するため、各分野の29施策において、それぞれ取組を推進していく一方で、未来に向け、特に重点的・施策横断的に取り組む必要のある課題に対応するため、施策単位での取組を連携させながら事業実施の効果を高め、課題を解決し、基本目標の達成や将来像の実現を目指していく必要があります。

このことから、「社会の潮流」や「まちづくりを考える上で重視する視点」等から導かれる本市の課題を踏まえた、重点的・施策横断的な取組を「戦略プロジェクト」として展開します。

■ 戦略プロジェクトの取扱い

戦略プロジェクトは、毎年見直しを行い、戦略プロジェクトの加除のほか、戦略プロジェクトを構成する重点事業の加除を行いながら、弾力的で効果的な運用を図ります。

■ 施策間の連携

「戦略プロジェクト」に掲げる事業は、「まちづくりの取組」に掲げる施策の中に含まれますが、施策横断的に取り組むことにより、効果的な連携を図ります。

■ 取組期間

概ね3年を目途に重点を置いた取組を進めます。

■ 取組項目（令和2年度）

重点1 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト（1年目）

重点2 みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト（3年目）

重点3 2020あつまる・つながるまちプロジェクト（3年目）

資料の見方

戦略プロジェクトごとに主な取組内容を掲載しています。

重点1 「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクト（取組期間：平成29年度～令和元年度）

本市の魅力ある農畜産物などの地域資源を活用した取組を進めるとともに、関連する食品関連産業やものづくり関連産業の高付加価値化や操業環境整備の取組により産業の振興を図りました。

また、戦略的な企業誘致や企業支援のほか、新たな市場開拓や新商品開発等を目的とした異業種交流の促進により、活力あふれるまちづくりを推進しました。

戦略プロジェクトを構成する重点事業ごとに計画額と実績を掲載しています。

No.	重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
1	若者の就業支援事業（高校生インターンシップ事業・スキルアップ支援事業）	19	187	41	0
2	若者の就業支援事業（ジョブカフェいわて運営事業）	19	5,004	4,950	0

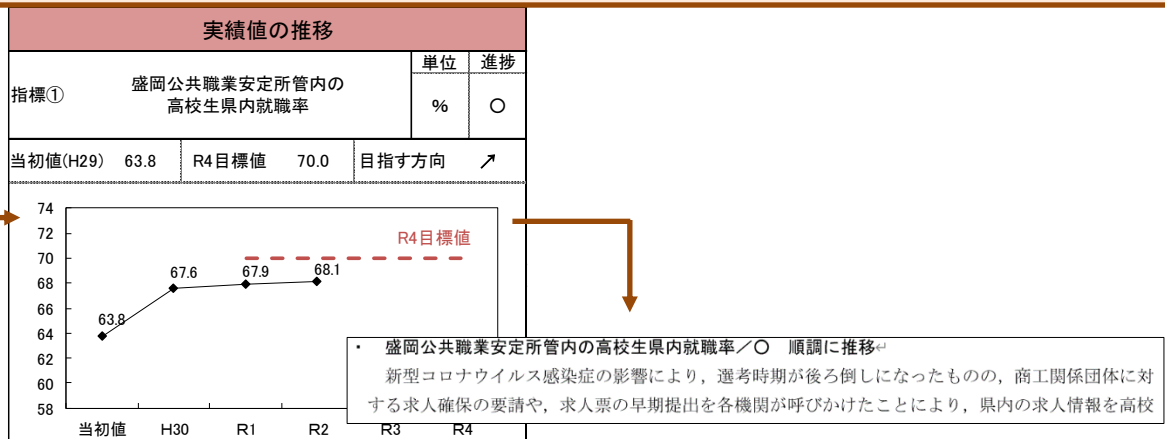
・ 新規就農支援事業

前年度までの農業次世代人材投資資金交付対象者が交付期間を終え、交付対象者が減少したため、実績額が小さくなりました。

計画額と実績額の乖離が大きい事業があった場合、要因を掲載しています。

進捗を客観的に測るために設定した指標の状況や分析結果を掲載しています。

- ・「性格」欄の「↑」は数値を上げていくことを、「↓」は数値を下げていくことを、「→」は現状を維持していくことを目標としています。
- ・「進捗」欄の「☆」は目標値に到達、「◎」は目標値に向け順調に推移、「○」は目標値に向け推移、「△」は遅れが生じていることを表します。評価の基準は資料1の4ページに掲載しています。



令和2年度の取組による主な成果と課題を掲載しています。

■ 主な成果と課題

- ・ 農林業の振興

...

指標の分析、主な成果と課題を踏まえた今後の方向性を掲載しています。

■ 今後の方向性

- ・ 農林業の振興

...

重点1 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト

(取組期間：令和2年度～令和4年度)

ものづくり人材や意欲ある農林業の担い手の育成、支援など、若者を中心とした盛岡で働く人を育てるとともに、戦略的な企業誘致や新産業等用地の整備、地元企業への支援などを通じて、働く場の創出を推進しました。

また、テレワーク等ICT活用による新しい働き方の導入、AI、IoT等の新技術の活用による生産性の向上、盛岡産農畜産物の優位性を生かした付加価値向上など、地元企業や農業などの効率性や生産性を高め、地場産業の基盤の安定化と魅力向上により、地域経済の活性化と人口流出の抑制を図りました。

重点事業の実績

(単位 千円)

No.	重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
1	若者の就業支援事業（高校生インターンシップ事業・スキルアップ支援事業）	19	187	41	0
2	若者の就業支援事業（ジョブカフェいわて運営事業）	19	5,004	4,950	0
3	若者の就業支援事業（新社会人就職定着支援事業）	19	1,975	1,975	0
4	若者の就業支援事業（高校生地元就職フォローアップ事業）	19	2,160	2,160	0
5	若者の就業支援事業（若者等地元定着強化事業）	19	3,399	3,399	0
6	食と農のバリューアップ推進事業	21	18,547	18,663	0
7	食と農のバリューアップ推進事業（6次産業化等スタートアップ支援事業）	21	6,650	4,606	0
8	盛岡の食材プロモーション事業	21	2,416	5,017	0
9	新規就農支援事業	21	18,958	14,453	0
10	農業生産対策事業（スマート農業導入促進事業）	21	3,000	3,684	0
11	盛岡りんご担い手バックアップ事業（りんご剪定作業担い手育成補助金）	21	500	350	0
12	農業改良普及事業（輸出支援事業）	21	150	150	0
13	林業労働対策事業（森のしごと見学会）	21	494	491	0
14	中小企業人材育成支援事業	22	200	116	0
15	新産業等用地整備事業（特別会計）	23	962,681	953,864	0

No.	重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
16	工場新設拡充等事業	23.25	54,700	79,706	0
17	工業振興事業(製造業及び情報サービス業市場開拓等事業補助金)	23	800	100	0
18	工業振興事業(企業サポート専門員)	23	2,877	2,877	0
19	産業支援事業	23	1,219	836	0
20	成長分野拠点形成支援事業	23	33,230	24,277	2,646
21	ものづくり産業魅力向上事業	23	2,122	0	0
22	ものづくり人材育成事業	23	138	105	0
23	盛岡テクノミュージアム設置事業	23	740	173	0
24	産業支援センター管理運営事業	23	16,573	16,572	0
25	産学官連携研究センター管理運営事業	23	18,907	17,959	0
26	新事業創出支援センター管理運営事業	23	7,893	7,932	0
27	起業家支援事業	23	160	10,160	0
28	工場新設拡充等事業(未来創造産業拠点形成調査事業)	23	2,000	10,784	0
29	雇用対策推進事業(魅力ある職場づくり推進事業)	25	1,096	1,096	0
30	雇用対策推進事業 新卒・若者就業支援事業(盛岡もりおか就職ガイダンス)	25	265	265	0
31	雇用対策推進事業 新卒・若者就業支援事業(盛岡地域雇用開発協会負担金)	25	1,122	1,122	0
32	雇用対策推進事業(U・Iターン, 移住支援事業)	25	8,386	3,654	0
全32事業 事業費合計			1,178,549	1,191,537	2,646

- ・ **若者の就業支援事業（高校生インターンシップ事業・スキルアップ支援事業）**
 新型コロナウイルス感染症の影響により、高校生スキルアップ事業を実施しなかったため、講師謝金が不用となり実績額が小さくなりました。
- ・ **雇用対策推進事業（U・Iターン、移住支援事業）**
 移住者が見込みより少なかったことと、東京で行われるU・Iターンフェアが中止となり、出展に要する経費が不用となったため実績額が小さくなりました。
- ・ **食と農のバリューアップ推進事業（6次産業化等スタートアップ支援事業）**
 6次産業化等スタートアップ支援対象者への助成額が当初計画より少額であったため実績額が小さくなりました。
- ・ **盛岡の食材プロモーション事業**
 スタンプラリーにかかる事業費を6月補正予算で増額（3,151千円）したほか、ホストタウン事業の中止により当初予定していた当該事業での特産食材のお振舞経費を9月補正予算にて減額した（△550千円）ことで、実績額全体は大きくなりました。
- ・ **新規就農支援事業**
 農業次世代人材投資事業において、年度内開始に結びつかなかった就農希望者がいたため実績額が小さくなりました。
- ・ **農業生産対策事業（スマート農業導入促進事業）**
 予算額を超える要望があったため実績額が大きくなりました。
- ・ **盛岡りんご担い手バックアップ事業（りんご剪定作業担い手育成補助金）**
 予定していた5人のうち、1人が体調不良で回復の見込みがなく、作業に従事できませんでした。また、作業回数が予定を下回ったことにより、実績額が小さくなりました。
- ・ **中小企業人材育成支援事業**
 「地域イノベーションプロデューサー塾」※の利用者が想定よりも少なかったため実績額が小さくなりました。
- ・ **工場新設拡充等事業**
 補助金について、新規は令和元年中に投下した固定資産が対象となっていますが、例年より金額と件数が多かったため実績額が大きくなりました。
- ・ **工業振興事業（製造業及び情報サービス業市場開拓等事業補助金）**
 新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外の展示会の中止及び延期並びに出展者の出展控えにより、補助金の活用が減少したことで実績額が小さくなりました。
- ・ **産業支援事業**
 産学共同研究等支援事業補助金について、計画（2件）を超える申請があり交付決定しましたが（3件）、いずれも補助対象経費が少額だったため実績額が小さくなりました。
- ・ **成長分野拠点形成支援事業**
 新型コロナウイルス感染症の影響により、海外への販路拡大が事業縮小となったため、実績額が小さくなりました。
- ・ **ものづくり産業魅力向上事業**
 新型コロナウイルス感染症の影響により、首都圏等への出展などの全ての事業を中止したため、実績額が小さくなりました。
- ・ **ものづくり人材育成事業**
 コロナウイルス感染症の影響により、当初2回予定していた出前講座と工場見学の回数が減少した

※ 東北大学大学院経済学研究科地域イノベーション研究センターが主催する地域企業の経営人材を対象に、地域における新たな雇用機会の創出と産業振興に貢献できる革新的プロデューサーを育成する事業。

ため、実績額が小さくなりました。

- 盛岡テクノミュージアム設置事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、新規事業者の登録及び補助金申請がなかったため、実績額が小さくなりました。

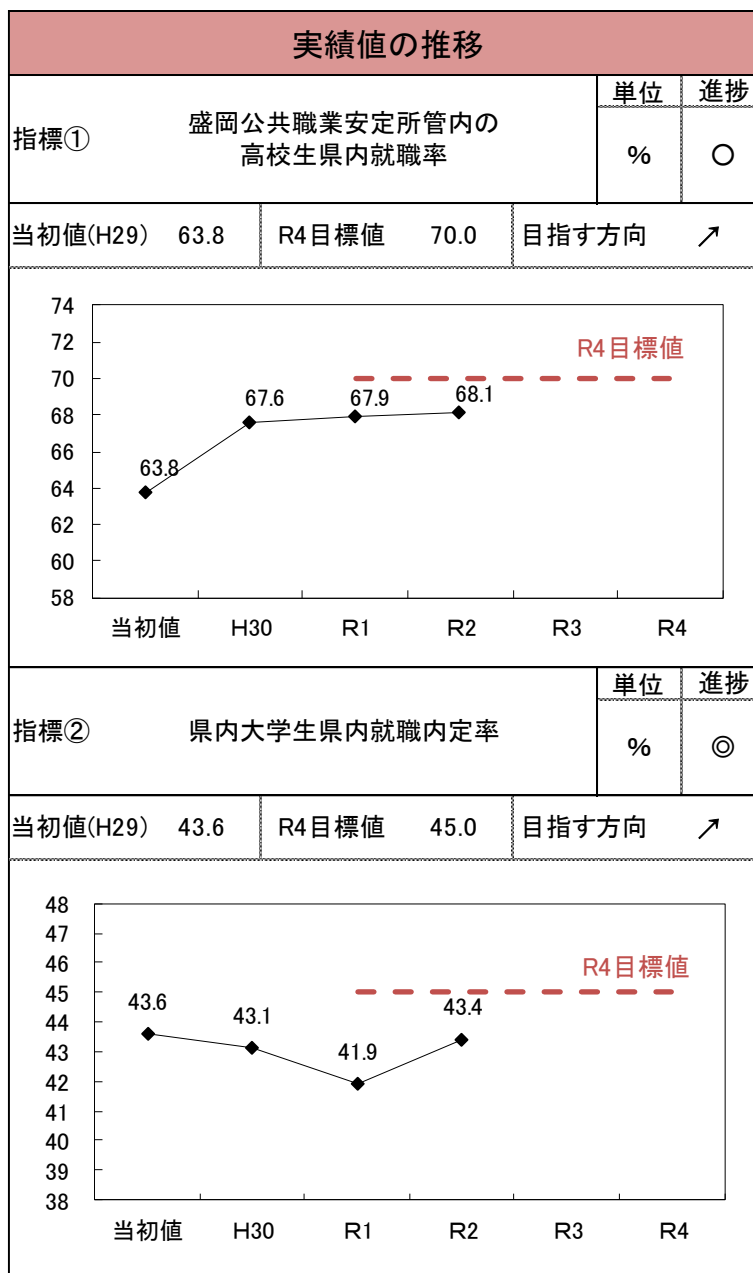
- 起業家支援事業

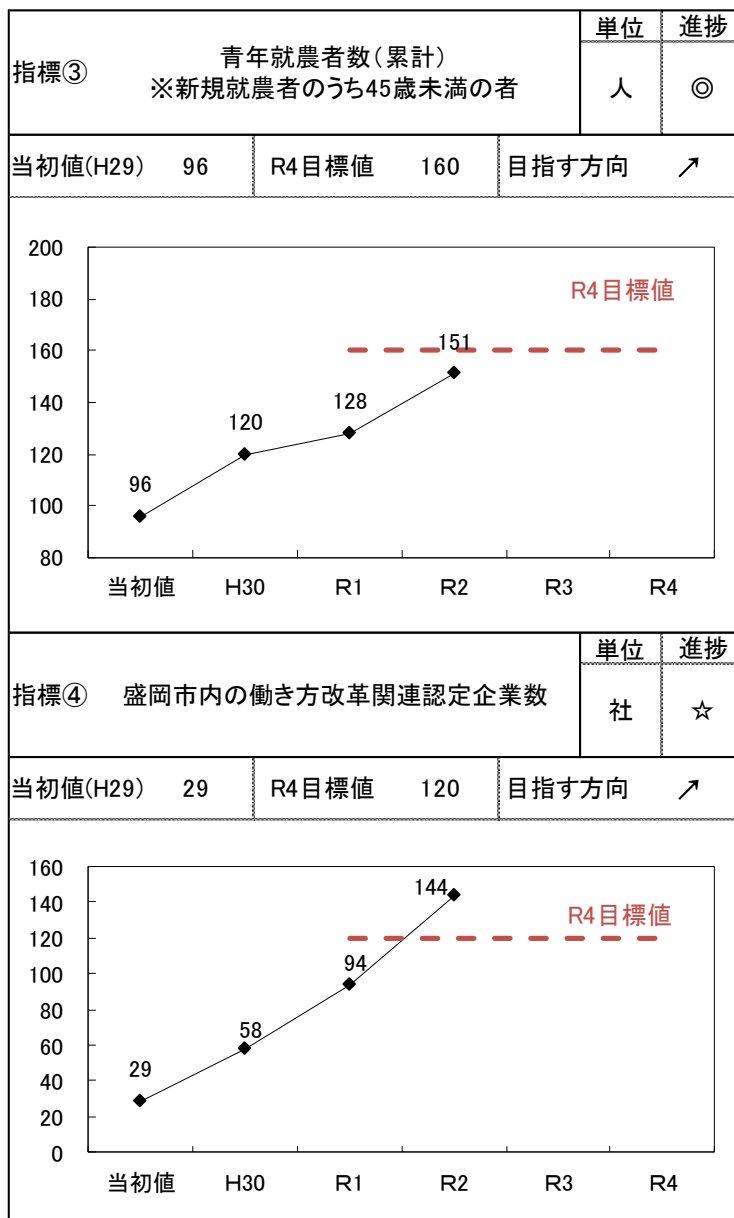
出資金について、市内事業者からの要望に対して、早急に対応する必要があったため、補正予算によりファンドを組成のうえ、投資を実行したことにより実績額が大きくなりました。

- 工場新設拡充等事業（未来創造産業拠点形成調査事業）

調査対象企業拡大（3,000社→10,000社）に伴う委託料の増により実績額が大きくなりました。

■ 指標の状況





- 盛岡公共職業安定所管内の高校生県内就職率／◎目標値に向け推移**
 新型コロナウイルス感染症の影響により、選考時期が後ろ倒しになったものの、商工関係団体に対する求人確保の要請や、求人票の早期提出を各機関が呼びかけたことにより、県内の求人情報を高校生が早期に知ることができたことで県内就職率の増加につながりました。
- 県内大学生県内就職内定率／◎目標値に向け順調に推移**
 新型コロナウイルス感染症の影響により、学生の地元志向が強まったことと、企業側においても新卒の採用に対して積極的であったことが影響していると考えられます。
- 青年就農者数(累計) ※新規就農者のうち45歳未満の者／◎目標値に向け順調に推移**
 全国的な田園回帰の潮流により、農のある生活に新たな価値が見い出されていることが順調な推移に繋がっていると考えられます。
- 盛岡市内の働き方改革関連認定企業数／☆目標値に到達**
 ワーク・ライフ・バランスの推進への取り組みの必要性が、企業に浸透してきているものと考えられます。

■ 主な成果と課題

・ 若者が盛岡でやりがいのある仕事に就き、暮らし続ける

(成果)

ハローワークや県、市がそれぞれ地元企業を学生が知るための取組を行いました。そのうち、高校生を対象としたインターンシップ事業や、就職面談会が地元企業を知るきっかけとなったと考えられます。

また、大学生に対してはジョブカフェいわて運営事業により、多くの学生にきめ細やかな就職支援を行いました。これらの取り組みにより、県内就職率の増加につながりました。

(課題)

大都市圏の企業と比較した場合に、待遇差がある、また、企業の知名度が大都市圏の企業と比べて低いことから、一定数県外での就職を選択する傾向にあります。地元企業の働く場としての魅力の向上を図るとともに、大都市圏との待遇格差の解消に資するため地域経済を活性化させ、企業収益向上を目指す取組を行う必要があります。

・ 地元企業及び農林業の基盤を安定化させ、魅力を向上させる

(成果)

国をはじめ、県、市など様々な機関が、ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取組を呼び掛けたほか、研修会等を開催したことで、ワーク・ライフ・バランスの取組の必要性が地元企業に浸透してきていると考えられます。

農業次世代人材投資資金や親元就農給付金の交付が、新規就農を後押ししています。

また、直近3年間の新規就農者数の約半数が、農業法人・団体に職を得る「雇用就農」であり、法人等が新たな担い手を確保・育成する受け皿となっていることから、新規就農者数が順調に増加しています。

(課題)

働き方改革に取り組むためのセミナーを開催するなど、地元企業の取組を引き続き支援する必要があります。

また、新型コロナウイルス感染症の流行下においては、ICTを活用したテレワークやリモートワークなど新しい働き方の導入が進展しており、AI、IoTの技術など新しい社会の動きを捉え生産性の継続的な向上につなげていく必要があります。

「農業は儲からない」「生活するための十分な所得が得られない」「体力的にきつい」などの負のイメージが払拭されていないと推定されますので、イメージの向上を図る必要があります。新規就農者は、農地や農業用機械の取得が必要であり、他産業に比べても初期投資が大きいと推定されるので、支援の継続が必要です。

■ 今後の方向性

- ・ **若者が盛岡でやりがいのある仕事に就き，暮らし続ける**

インターンシップ事業や就職面談会など様々な取組を通じて，地元企業の魅力や地元で働き生活することの魅力若者に発信し続けることで，若者の地元定着につなげます。

また，令和3年9月策定の「盛岡市ヘルステック産業振興戦略」及び「盛岡市IT産業振興戦略」に掲げた施策を推進することで，若者に魅力的な働く場所を創出するとともに，人材の育成・確保を図ります。

- ・ **地元企業及び農林業の基盤を安定化させ，魅力を向上させる**

地元企業の働き方改革に向けた取組を支援し，企業のワーク・ライフ・バランスを実現することで，働く場所としての魅力を向上させ，地元企業が若者に選ばれる企業となることで，地元企業の人材確保を図り，地元企業の持続的な発展につながる支援に取り組みます。

重点2 みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト

(取組期間：平成30年度～令和3年度)

若い世代や子育て世代が、希望を持って子どもを産み育てることができるよう、さまざまな子育て支援ニーズに柔軟に対応するための支援を行うなど、子育て環境を充実させました。

また、子育ての相談や子どもの健全な成長を支援する体制の充実を図り、盛岡に住み続けたいと思える、安心して子育てのできるまちの実現を図りました。

重点事業の実績

(単位 千円)

No.	重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
1	待機児童解消強化事業(定員弾力化補助金)	2	8,600	9,300	0
2	特別保育事業(延長保育実施施設の拡充)	2	127,400	102,871	0
3	保育士確保対策事業(奨学金返還支援)	2	10,782	9,121	0
4	保育士確保対策事業(宿舍借上げ支援等)	2	67,397	52,760	0
5	保育士確保対策事業(処遇改善支援)	2	7,155	6,360	0
6	私立児童福祉施設整備助成事業	2	144,491	175	0
7	児童館管理運営事業(児童厚生員の適正配置)	2	30,179	30,179	0
8	児童館整備事業(見前北児童センター整備)	2	16,031	11,983	0
9	児童館整備事業((仮称)向中野児童センター整備事業)	2	6,006	4,298	0
10	児童福祉施設環境改善事業(公立施設エアコン設置)	2	14,156	8,111	0
11	子ども・子育て支援事業計画推進事業	2	302	137	0
12	子ども未来基金事業	2	32,070	17,040	0
13	子育て世代包括支援センター事業	2	10,169	10,567	0
14	子育て応援プラザ運営事業	2	25,093	25,181	0
15	子ども家庭総合支援センター事業	2	20,181	20,052	0

No.	重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
16	子ども家庭総合支援センター事業(養育支援訪問(家事援助)事業)	2	1,188	1,104	0
17	母子保健事業(乳児家庭全戸訪問等事業)	2	5,493	5,555	0
18	母子保健事業(産婦健康診査事業)	2	19,093	17,304	0
19	母子保健事業(産後ケア事業)	2	773	475	0
20	母子保健事業(新生児聴覚検査事業)	2	8,549	8,603	0
21	小児救急輪番制病院事業	2	22,792	19,285	0
22	医療費給付事業(妊産婦)	2	136,486	120,375	0
23	医療費給付事業(乳幼児)	2	431,212	420,003	0
24	医療費給付事業(小学生)	2	230,886	247,558	0
25	医療費給付事業(中学生)	2	86,492	99,191	0
26	子育て世帯支援型賃貸住宅改修事業	2	3,000	0	0
27	子育てのための施設等利用給付事業(幼稚園副食費補足給付)	2	11,664	5,856	0
28	私立児童福祉施設等運営事業(第2子以降の保育料無償化)	2	88,176	72,634	0
29	認定こども園等運営費給付事業(第2子以降の保育料無償化)	2	39,204	38,583	0
30	保育所管理運営事業(第2子以降の保育料無償化)	2	15,312	9,585	0
31	子育てのための施設等利用給付事業(認可外施設の第2子以降の保育料補助)	2	23,184	4,854	0
32	私立児童福祉施設運営費助成事業(副食費補助)	2	88,776	79,254	0
33	地域児童クラブ等運営事業(第2子以降の利用料無償化)	2	25,056	10,937	0
34	地域児童クラブ等運営事業(低所得世帯の利用料軽減)	2	11,880	2,344	0

No.	重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
35	夜間急患診療所管理運営事業	4	75,434	72,228	0
36	予防接種事業(幼児, 小・中学生インフルエンザ予防接種補助事業)	4	74,196	77,868	0
37	障がい者相談支援事業(児童に特化した相談窓口の設置)	5	4,800	3,733	0
38	小中学校等環境整備事業(公立施設トイレの洋式化)	17	401,158	374,088	0
39	就学援助事業(小学校)(学用品費の入学前支給)	17	9,753	7,711	0
40	就学援助事業(中学校)(学用品費の入学前支給, クラブ活動費支給)	17	23,811	22,283	0
全40事業 事業費合計			2,358,380	2,029,958	0

- ・ 保育士確保対策事業(宿舎借上げ支援等)
対象者数が当初の見込みを下回ったため実績額が小さくなりました。
- ・ 私立児童福祉施設整備助成事業
施設整備を予定していた法人が, 工事に先立ちあらためて地盤調査を行った結果, 地盤改良に多額の経費を要することが判明し, 整備を実施しないこととなり実績額が小さくなりました。
- ・ 児童館整備事業(見前北児童センター整備)
入札により, 金額が見込みより低くなったことにより実績額が小さくなりました。
- ・ 児童館整備事業((仮称)向中野児童センター整備事業)
入札により, 金額が見込みより低くなったことにより実績額が小さくなりました。
- ・ 児童福祉施設環境改善事業(公立施設エアコン設置)
入札により, 金額が見込みより低くなったことにより実績額が小さくなりました。
- ・ 子ども・子育て支援事業計画推進事業
子ども・子育て会議の書面開催により報酬が減額となり, 実績額が小さくなりました。
- ・ 子ども未来基金事業
新型コロナウイルス感染症拡大により, 支援を予定していた事業の実施の見合わせ等があり, 子ども・子育て支援事業補助金が減額となり, 実績額が小さくなりました。
- ・ 母子保健事業(産後ケア事業)
妊娠中には利用を希望していたものの, 新型コロナウイルス感染症拡大により, 訪問による支援を希望しなくなった方が多かったため実績額が小さくなりました。
- ・ 子育て世帯支援型賃貸住宅改修事業
老朽化し耐震性が確認できない住宅についての相談が多く, 応募の要件を満たすものが現れなかったため実績額が皆減しました。
- ・ 子育てのための施設等利用給付事業(幼稚園副食費補足給付)
対象者数が当初の見込みを下回ったため実績額が小さくなりました。

- ・ **保育所管理運営事業（第2子以降の保育料無償化）**
対象者数が見込を下回ったため実績額が小さくなりました。
- ・ **子育てのための施設等利用給付事業（認可外施設の第2子以降の保育料補助）**
対象者数が当初の見込みを下回ったため実績額が小さくなりました。
- ・ **地域児童クラブ等運営事業（第2子以降の利用料無償化）**
申請者数が見込みを下回ったことにより実績額が小さくなりました。
- ・ **地域児童クラブ等運営事業（低所得世帯の利用料軽減）**
申請者数が見込みを下回ったことにより実績額が小さくなりました。
- ・ **障がい者相談支援事業（児童に特化した相談窓口の設置）**
当事業を盛岡市社会福祉事業団へ委託し実施しましたが、正規職員をカバーする臨時的対応職員を採用することができなかったことにより実績額が小さくなりました。
- ・ **就学援助事業（小学校）（学用品費の入学前支給）**
例年同様に事業周知を行っていましたが、当初の支給予想者数よりも実際の支給申請者数が減ったため、計画額よりも減額となり、実績額が小さくなりました。

■ 指標の状況

実績値の推移																								
指標①	1月1日現在の待機児童数	単位	進捗																					
		人	☆																					
当初値(H28)	218	R3目標値	0																					
		目指す方向	↘																					
<table border="1"> <caption>指標①実績値の推移</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>実績値</th> <th>R3目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>218</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>180</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>84</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>40</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>				時期	実績値	R3目標値	当初値	218	0	H29	180	0	H30	84	0	R1	40	0	R2	0	0	R3	-	0
時期	実績値	R3目標値																						
当初値	218	0																						
H29	180	0																						
H30	84	0																						
R1	40	0																						
R2	0	0																						
R3	-	0																						
指標②	まちづくり評価アンケート調査「子育てを楽しんでいると感じている」と答えた子どものいる親の割合	単位	進捗																					
		%	△																					
当初値(H28)	74.0	R3目標値	80.0																					
		目指す方向	↗																					
<table border="1"> <caption>指標②実績値の推移</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>実績値</th> <th>R3目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>74.0</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>70.0</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>74.2</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>79.7</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>79.3</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>-</td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table>				時期	実績値	R3目標値	当初値	74.0	80.0	H29	70.0	80.0	H30	74.2	80.0	R1	79.7	80.0	R2	79.3	80.0	R3	-	80.0
時期	実績値	R3目標値																						
当初値	74.0	80.0																						
H29	70.0	80.0																						
H30	74.2	80.0																						
R1	79.7	80.0																						
R2	79.3	80.0																						
R3	-	80.0																						
指標③	まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合	単位	進捗																					
		%	○																					
当初値(H28)	15.2	R3目標値	42.0																					
		目指す方向	↗																					
<table border="1"> <caption>指標③実績値の推移</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>実績値</th> <th>R3目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>15.2</td> <td>42.0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>15.9</td> <td>42.0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>19.9</td> <td>42.0</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>18.9</td> <td>42.0</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>23.2</td> <td>42.0</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>-</td> <td>42.0</td> </tr> </tbody> </table>				時期	実績値	R3目標値	当初値	15.2	42.0	H29	15.9	42.0	H30	19.9	42.0	R1	18.9	42.0	R2	23.2	42.0	R3	-	42.0
時期	実績値	R3目標値																						
当初値	15.2	42.0																						
H29	15.9	42.0																						
H30	19.9	42.0																						
R1	18.9	42.0																						
R2	23.2	42.0																						
R3	-	42.0																						

- ・ 1月1日現在の待機児童数／☆目標値に到達

順調に目指すべき方向に進んでいます。社会福祉法人等からの保育所開設相談等に応じ、認可保育所や小規模保育所等の定員拡大を進めたことや、若手保育士が働き続けられるよう経済的支援の拡大による保育士確保が要因と考えられます。一方で、女性の社会進出が増加するとともに、育児休業後に職場復帰するなど年度途中の保育所の入所希望が増加していることや、関東地方など都市部に就職先を求める保育士が増えていることが懸念です。

- ・ まちづくり評価アンケート調査「子育てを楽しんでいる」と答えた子どものいる親の割合／△遅れが生じている

乳児家庭全戸訪問等事業や産後ケア事業など、出産後の保護者に寄り添った支援が子育ての不安感や孤立感の解消につながったものと考えられます。

また、子ども家庭総合支援センターと子育て世帯包括支援センターの連携により、市としての相談受付体制が強化されたことにより、順調な推移の傾向にありますが、指標の実績は前年度から微減しました。

女性の社会進出に伴う共働き家庭の増加や核家族化の進行を背景に、子育て支援ニーズが多様化・複雑化しており、妊娠期・出産期から就学期に至るまでの切れ目のない支援と、社会全体で子育てを支える機運の醸成が求められます。

- ・ まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合／○目標値に向け推移

令和元年度に比べて増加しました。もりおか子育て応援プラザの運営により、子育て中の親子の交流が促進されましたが、児童数が増加している盛南地区において地域子育て支援拠点が求められていること、児童センターが未設置の小学校区において、身近に遊ぶ施設がない（少ない）ことなどにより、指標が伸び悩んでいる傾向にあります。

■ 主な成果と課題

- ・ 年間を通じた待機児童の解消

(成果)

児童福祉施設の整備支援、認可保育所や小規模保育所等の定員拡大を進め、令和3年4月入所に向けて114人の定員拡大を行いました。

また、166名への保育士奨学金返還支援補助、25事業者・延べ38施設への保育士宿舍借上げ支援事業補助、27事業者・延べ41施設への若手保育士処遇改善事業補助を行い、保育士確保に繋げました。

(課題)

空き待ち児童も含め、年間を通じた保育所入所希望者全員の入所には至っていないことから、保育所定員の拡大とともに、保育を担う保育士の確保を行う必要があります。

- ・ 育児不安解消への取組

(成果)

児童の放課後の安全・安心な居場所づくり、育児不安解消に向け相談窓口や産後ケアの充実、地域で子育てを見守る活動への支援及び子育て世帯の経済的な負担軽減策を実施したことで、子育ての不安感や孤立感の解消につながりました。

(課題)

まちづくり評価アンケートにおける「子育てを楽しんでいる」割合は、2年連続で概ね目標値に近い割合を維持していますが、多様化・複雑化している子育て支援ニーズを的確に捉えていく必要があります。また、経済的基盤が弱く、厳しい状況にあるひとり親家庭への支援の充実が必要です。

■ 今後の方向性

待機児童の解消に向けて、今後の女性の社会進出や潜在的な保育需要を踏まえ、低年齢児を中心に保育施設の定員を確保します。

また、保育士確保策の充実を図るとともに、潜在保育士の掘り起こしに取り組みます。

子育て負担の軽減と子育て支援の充実については、児童数が増加している盛南地区への地域子育て支援拠点の開設を検討するほか、幼児教育・保育の無償化に加えて第2子以降の保育料の無償化や実費徴収となった副食費の補助、放課後児童クラブの利用料等の軽減など、子育ての経済的な負担軽減の取組を継続します。放課後における児童の居場所の確保については、「放課後の居場所づくりの方針」に基づき、児童センターと放課後児童クラブを計画的に整備します。

また、地域で子育てを見守る子ども食堂への支援や産後ケア（デイサービス型）の拡充に取り組みます。子ども・子育てに関する様々な情報発信や子育て支援施策の周知を強化する新たな取組を検討します。

重点3 2020あつまる・つながるまちプロジェクト

(取組期間：平成30年度～令和3年度)

本市を訪れる旅行客が満足し、選ばれる観光地域となるため、歴史や自然、文化などの恵まれた観光資源を生かし、ブラッシュアップするとともに、様々な媒体を通じ、本市の魅力を積極的にプロモーションしました。

また、コロナ禍におけるオンラインや感染予防に留意したイベントの開催などを実施し、交流人口の拡大を図りました。

重点事業の実績

(単位 千円)

No.	重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
1	芸術文化活動振興事業(盛岡国際俳句大会)	12	4,000	3,375	0
2	芸術文化活動振興事業(盛岡文士劇東京公演)	12	5,000	0	0
3	盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業	13	53,924	6,695	0
4	生涯スポーツ推進事業(競技大会等開催事業(いわて盛岡シティマラソン))	13	30,000	20,600	0
5	生涯スポーツ推進事業(競技大会等開催事業(スポーツクライミング第3回コンバインドジャパンカップ))	13	2,000	0	0
6	地域おこし協力隊活用事業(盛岡広域連携スポーツツーリズムの推進)	13	4,000	3,956	0
7	盛岡ブランド確立事業	14	12,381	7,958	0
8	盛岡地区かわまちづくり事業	14	2,910	1,000	0
9	移住・定住・交流人口対策事業	14	21,307	28,779	0
10	地域おこし協力隊活用事業(移住・定住の促進)	14	3,936	3,623	0
11	いしがきミュージックフェスティバル支援事業	19	4,000	1,000	0
12	盛岡三大麺普及事業	22	418	122	0
13	地場・伝統産業振興事業(特産品ブランド振興事業)	23	133	6	0
14	地場・伝統産業振興事業(盛岡市の物産と観光展開催事業)	23	3,964	3,475	0
15	地場・伝統産業振興事業(盛岡デー開催事業)	23	2,900	261	0

No.	重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
16	観光団体育成強化事業(盛岡伝統芸能常設公演事業)	24	5,700	4,590	0
17	外国人観光客誘致推進事業(外国人観光客等受入環境整備・情報発信事業)	24	6,408	1,831	0
18	観光客誘致宣伝事業(東北六都市連携広域観光プロモーション事業)	24	3,000	0	0
19	大型観光キャンペーン事業(岩手もりおか復興フェスタ開催事業)	24	1,000	0	0
20	MICE誘致推進事業	24	25,800	400	0
21	姉妹都市等国際交流事業(ホスタウン機運醸成事業)	28	1,589	345	0
22	姉妹都市等国際交流事業(ビクトリア姉妹都市提携35周年記念事業)	28	10,987	731	0
全22事業 事業費合計			205,357	88,747	0

- ・ 芸術文化活動振興事業（盛岡国際俳句大会）
事業内容の変更に伴い減額したことで、実績額が小さくなりました。
- ・ 芸術文化活動振興事業（盛岡文士劇東京公演）
事業の延期により、実績額が皆減しました。
- ・ 盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業
東京2020オリンピック・パラリンピック大会が1年延期になったことにより、事前キャンプの受け入れを実施せず事業内容及び予算が変更となり、実績額が小さくなりました。
- ・ 生涯スポーツ推進事業（競技大会等開催事業（いわて盛岡シティマラソン））
新型コロナウイルス感染症拡大により本大会を中止し、代替企画としてGPSトレーニングアプリ「TATTA」を活用したオンラインマラソンおよび写真投稿キャンペーンを実施したことにより、事業内容及び予算が変更となったため実績額が小さくなりました。
- ・ 生涯スポーツ推進事業（競技大会等開催事業（スポーツクライミング第3回コンバインドジャパンカップ））
事業の延期、かつ開催地変更となったことにより、経費の支出が不要となりました。
- ・ 盛岡ブランド確立事業
マーケティング支援等業務委託及び戦略的プロモーション支援等業務委託において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施期間を短縮したことにより実績額が小さくなりました。
- ・ 盛岡地区かわまちづくり事業
北上川の船着き場への案内板設置について、船着き場の整備状況を踏まえ次年度に変更したことにより実績額が小さくなりました。
- ・ 移住・定住・交流人口対策事業
企業版ふるさと納税受入れ相当額の積立金を増やしたことで実績額が大きくなりました。
- ・ いしがきミュージックフェスティバル支援事業
新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、コンサートを中止したため実績額が小さくなり

ました。

- ・ **盛岡三大麺普及事業**

新型コロナウイルス感染症の影響により、全日本わんこそば選手権が中止となったため、実績額が小さくなりました。

- ・ **地場・伝統産業振興事業（特産品ブランド振興事業）**

プレミアムブランド品の申請がなく、認定会議を開催しなかったため実績額が小さくなりました。

- ・ **地場・伝統産業振興事業（盛岡デー開催事業）**

新型コロナウイルス感染症の影響により、盛岡デー・イン・東京は開催中止、盛岡デー・イン・沖縄は縮小開催となったため、実績額が小さくなりました。

- ・ **外国人観光客誘致推進事業（外国人観光客等受入環境整備・情報発信事業）**

東北観光復興対策交付金の事業内容精査により、海外プロモーション事業は東北観光推進機構で集約する方向となり、プロモーション要素がある「タイ誘客受入環境整備事業」が不採択となったため実績額が小さくなりました。

- ・ **観光客誘致宣伝事業（東北六都市連携広域観光プロモーション事業）**

当初予定していた東北六都市連携広域観光プロモーション事業について、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響により、中止となったため実績額が皆減しました。

- ・ **大型観光キャンペーン事業（岩手もりおか復興フェスタ開催事業）**

当初予定していた岩手もりおか復興フェスタについて、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響により、中止となったため実績額が皆減しました。

- ・ **M I C E 誘致推進事業**

国際会議や全国規模の大会等について、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響により、キャンセルが21件（25,400千円）あったため実績額が小さくなりました。

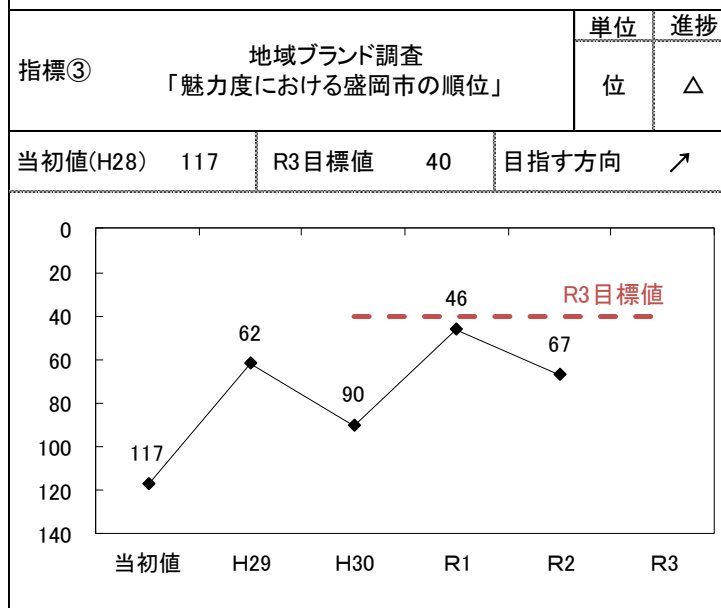
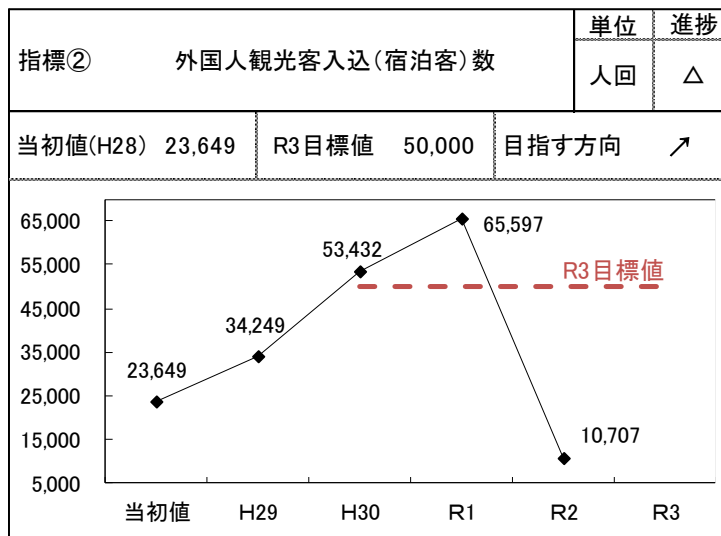
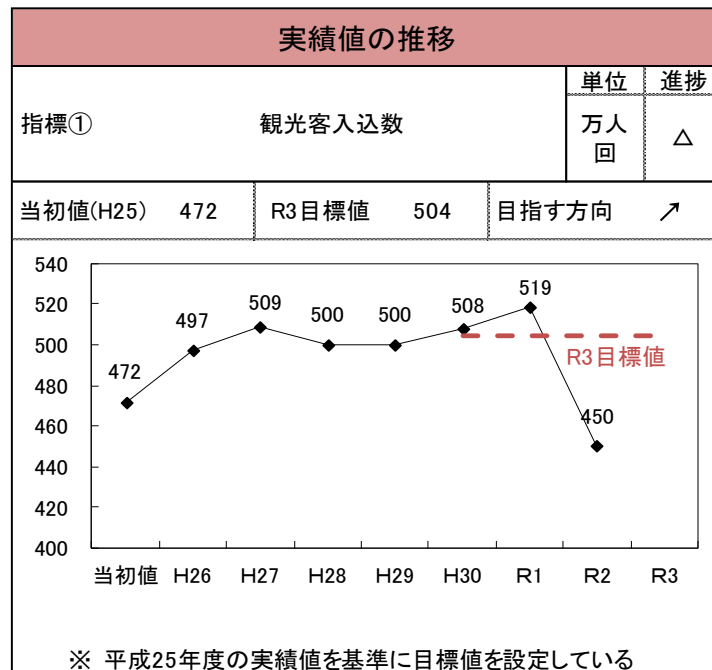
- ・ **姉妹都市等国際交流事業（ホストタウン機運醸成事業）**

予定した事業であるマリコンサートが中止となったことにより、実績額が小さくなりました。

- ・ **姉妹都市等国際交流事業（ビクトリア姉妹都市提携35周年記念事業）**

予定した周年記念事業のほとんどが中止となり、実行委員会が主催する一部事業の実施のための負担金のみ支出となったことで実績額が小さくなりました。

■ 指標の状況



- ・ **観光客入込数／△遅れが生じている**

国内外におけるコロナ禍により、本市においても海外渡航の制限のほか、国内における移動の制限や自粛の意識の高まりによる影響を大きく受け、目標値を下回る状況となりました。

そのような中、宿泊料の補助や令和3年4月からの東北DC*を見据えた国内プロモーションなどを実施して、域内観光の需要喚起に取り組みました。

- ・ **外国人観光客入込（宿泊客）数／△遅れが生じている**

国内外におけるコロナ禍により、いわて花巻空港の中国、台湾の国際定期便をはじめ、海外渡航が制限される状況となり、大幅に減少し、現在においても外国人観光客の需要回復時期が見込まれない状況となっています。

- ・ **地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」／△遅れが生じている**

情報発信を効果的に行うためのマーケティング研修や情報交換につき、新型コロナウイルスの影響を予見したスケジュールの設定を行えませんでした。

■ 主な成果と課題

- ・ **観光客誘致等の取組**

（成果）

令和3年4月からの東北DCの開催に向けて、つなぎ温泉の宿泊施設において盛岡さんさ踊りによる「つなぎ温泉観光協会伝統芸能常設公演事業」を実施し、コロナ禍における国内観光需要の喚起による誘客促進に取り組みました。

いしがきミュージックフェスティバルは、令和2年度はイベントを中止しましたが、新聞の全面広告の掲載や特大看板幕の設置及びのぼり旗の設置によりコロナ禍収束後の開催につなげました。

（課題）

コロナ禍により、首都圏におけるプロモーション事業が中止となるほか、祭り・イベントについても、中止せざるを得ない状況となり、指標の向上につなげる取組が十分にできない状況であり、今後においても集客につなげる取組が困難な状況が継続する見込みであることから、域内観光需要の喚起策やアフターコロナを見据えた施策に取り組む必要があります。

- ・ **外国人観光客等の誘致拡大**

（成果）

無料公衆無線LANサービス「盛岡 City Wi-Fi」を観光関連施設3か所に新たに整備して、外国人観光客の受入環境の向上を図る取組を行いました。

（課題）

コロナ禍により、海外渡航の制限が継続しており、需要の回復時期が見込まれない状況です。

- ・ **盛岡市の魅力度向上**

（成果）

市内の様々なプロモーションにおいてマーケティングや戦略的な情報発信の手法を取り入れることが出来るよう、セミナーや情報交換を行い関係各課との連携を図ることで、市内の情報発信力の向上を図ることが出来ました

ふるさと納税の寄附者数増加に向けて、盛岡ブランド認定品を市外住民に知ってもらうことを目的に、首都圏の女性をメインターゲットとしたデジタルプロモーション及び効果測定を実施しました。

関係人口を機軸とした移住・定住・交流人口対策事業として「盛岡という星で」プロジェクトによる、情報発信や首都圏における盛岡コミュニティ形成を行うことが出来ました。

* 東北デスティネーションキャンペーンの略。東北6県の自治体や観光関係者とJR6社などが一体となって行う大型の観光キャンペーンです。

新たな観光資源としての舟運実現に向けて、木造舟「もりおか丸」等の運航実験（2回）や舟運講演会（1回）、新たに国土交通省が整備する船着き場の現地調査を実施し、安全・安心な舟の運航に向けた取組ができました。

（課題）

職員がマーケティング手法を学ぶ研修や市民が主体的に情報発信するためのセミナーなど戦略的な情報発信に向けた施策について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催回数や開催方法を変更せざるを得なかったほか、移動やイベント開催の自粛により情報発信自体を控える傾向もある中で、新たな取組として効果的な情報発信を行うことができませんでした。

一方で、感染症の拡大の影響で帰省が制限されることなどによりふるさとへの想いが募る機会となっていることや、東京圏の若者を中心に地方での暮らしの関心が高まっていることから、新たな人の流れの創出に向けた受け皿づくりを進める必要があります。

新型コロナウイルス感染症の影響のため、舟運イベント「北上川フェスタ IN MORIOKA」を中止したことから、コロナ禍における運航体験やイベントの開催に向けた対策が必要です。

また、持続可能な舟運の運営体制構築のために、河川水位の確保や河川内の支障構造物の改良が必要です。

■ 今後の方向性

国内外における新型コロナウイルス感染症の感染拡大と感染防止対策の観点から、集客につながる祭り・イベントの開催やプロモーション活動が大幅に制限される状況となっています。東京2020オリンピック・パラリンピックの開催延期に伴う首都圏プロモーションや、東北DCの開催に伴う通年型観光につながるつなぎ温泉における盛岡さんさ踊りの常設公演の実施などにより、海外渡航の制限解除による外国人観光客の入込が見込まれない中、コロナ禍における国内観光需要の喚起による誘客を促進します。

国内外におけるコロナ禍による観光需要の影響を踏まえて、今後起こりうる社会情勢の変化にも対応する新しい観光のあり方の構築に向けて、多言語対応やQRコード等による観光情報の提供による観光案内板の整備による受入環境の向上により、まちなか観光を推進します。

盛岡市シティプロモーション指針及び推進計画（令和2年度～6年度）に基づき、「盛岡という星で」プロジェクトによる市外住民に向けた情報発信や、市民や事業者による主体的な情報発信の場を形成することなどを通じ、シティプロモーションを推進します。